

藤野南小学校 令和7年度全国学力・学習状況調査結果の概要

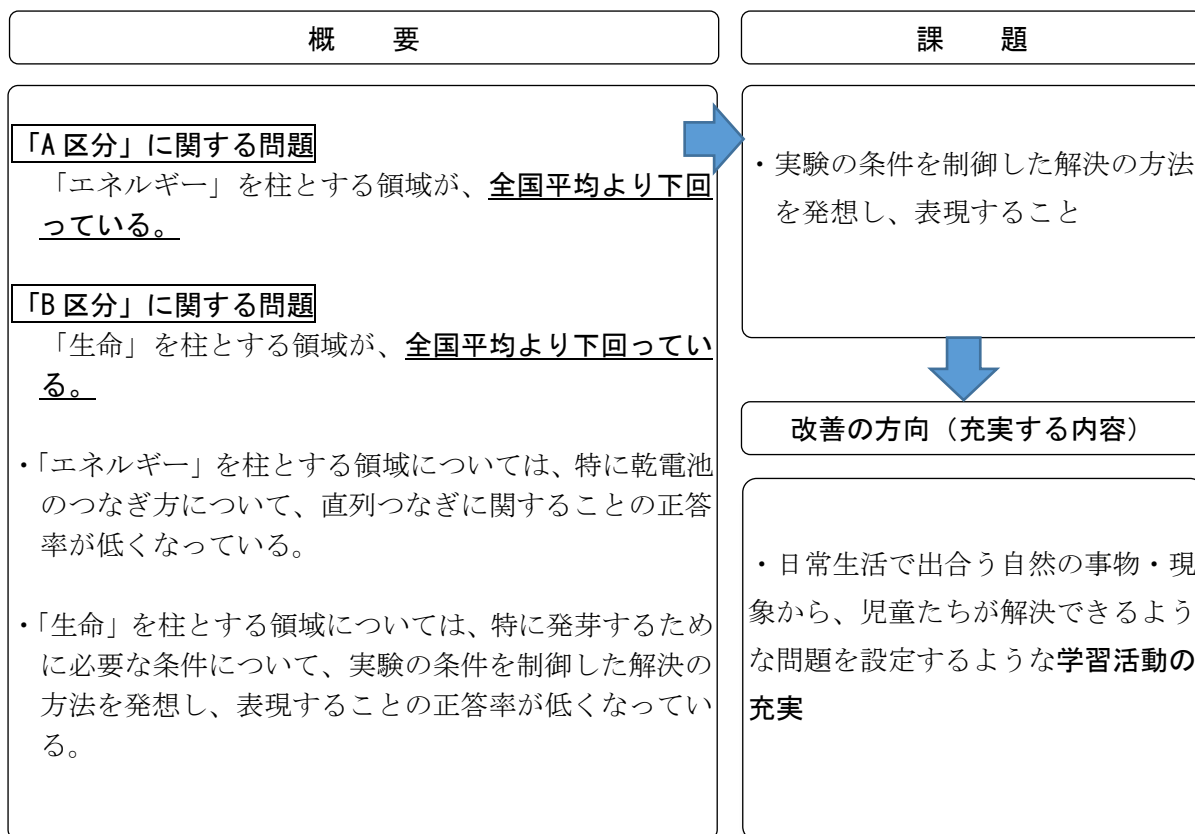
1 国語に関する調査結果

概 要	課 題
「知識及び技能」に関する問題 「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」で、<u>全国平均より下回っている。</u> 「思考力、判断力、表現力等」に関する問題 「話すこと・聞くこと」「書くこと」で<u>全国平均より下回っている。</u> ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、特に学年別漢字配当表に示させている漢字を文の中で正しく使うことの正答率が低くなっている。 ・「話すこと・聞くこと」では、特に目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付たりして、伝えあう内容を検討することができるかどうかの正答率が低くなっている。	・漢字など、言語に関する知識を深め、適切に書いたり、活用したりすること。 ↓ 改善の方向（充実する内容） ・漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方を習得できるようにする学習活動の充実

2 算数に関する調査結果

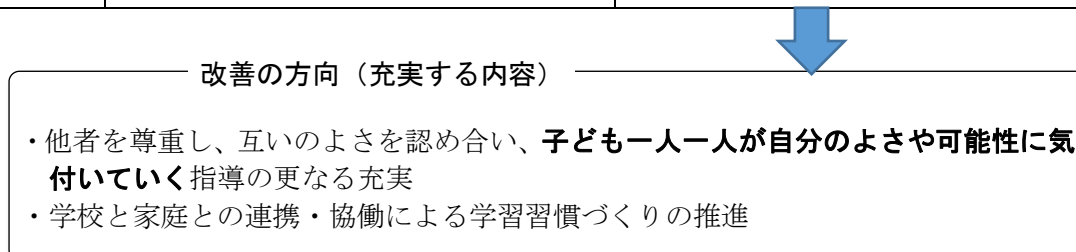
概 要	課 題
「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」で全国平均より下回っている。 ・「数と計算」では、分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できることの正答率が低くなっている。 ・「図形」では基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかの正答率が高くなっている。 ・「測定」では、はかりの目盛りを読むことができるかの正答率が低くなっている。	・小数や分数などの数の意味と表し方、計算の意味や計算の仕方などについて理解し、正しく計算すること ↓ 改善の方向（充実する内容） ・既習と関連付けながら、数と計算の意味や仕組みについて理解が深まる学習活動の充実。 ・日常の事象など様々な問題場面から、必要な情報を読み取り、筋道を立てて考えたり、説明したりする学習活動の充実

3 理科に関する調査結果



(1) 生活習慣、学習習慣、自尊意識、規範意識等についての概要

	特 徴	
生活習慣	○朝食を毎日食べていることについて肯定的な回答をした児童の割合が高い	○毎日、同じくらいの時刻に寝ていることについて肯定的な回答をした児童の割合は高い
学習習慣	○学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習に繋げることができていると肯定的な回答をした児童の割合が高い	●学校の授業時間以外に、普段 1 日当たり 1 時間以上していると回答した児童の割合が低い
自尊意識 規範意識等	○将来の夢や目標を持っている児童の割合が高い	○学校に行くのが楽しいと回答した児童の割合が高い



(2) 国語、算数、理科の学習についての概要

	特 徴
国 語	○国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う (本校 98.2% 全国平均 90.4%) ●国語の勉強は得意ですか (本校 52.6% 全国平均 61.4%)
算 数	○算数の勉強は好きですか (本校 68.5% 全国平均 57.9%) ○算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える (本校 87.7% 全国平均 82.3%)
理 科	○理科の授業で学習したことを普段の生活で活用できていますか (本校 73.7% 全国平均 63.2%) ●理科の授業で観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか (本校 86.0% 全国平均 88.4%)

【現状】 学校に行くのが楽しいと思うと答えた児童の割合は高いが、分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている児童の割合が低い。



改善の方向（充実する内容）

- ・子どもが自分の「伸び」や学びのよさ、できるようになったよろこびを実感したり、今の学びが将来にどう生きるのかを考えたりすることができるよう、**課題探究的な学習を推進**する。